

多古町3月議会報告

日本共産党多古町議員団

带状疱疹ワクチン補助実現！

対象 50歳以上
5月実施予定

- 町内の医療機関で接種できます。
- 接種費用の1/2が補助されます。

令和5年度予算(案)に対する賛成討論
菅沢博隆

- ・従来の水痘ワクチン(水ぼうそう) 有効性5年程度
生ワクチン→4000円
- ・带状疱疹ワクチン 有効性10年以上
不活化ワクチン→10,000円(1回当たり)
※2回分 20,000円助成
(1回目の接種から2カ月後に2回目の接種を行う)

2023年度、令和5年度、町当初予算、一般会計、並びに関係する特別会計、企業会計について賛成の立場で討論を致します。

主な点を申し上げますが、一般会計は前年度比9億4164万8千円増の、総額79億7197万3千円の大きな予算となりました。これは成田空港の機能強化策や、圏央道の整備に対応して、平山町長の町政運営に係る積極的な姿勢の現れであると評価致します。

歳入の繰り入れ金では歳出の財源を補う予算として、財政調整基金3億9800万円を取り崩し、計上しています。その結果、財政調整基金の保有高は18億2900万円余りとなります。財調は総務省が一般的に標準財政規模の10%~20%を適正としていることから見ると、本町の令和3年度決算ベースの標準財政規模は47億7372万円余りであり、20%は約9億4000万円余りとなります。今後、成田空港機能強化に伴う大きな事業が予定されていることから、ある程度の財政調整基金の保有は必要との町の考えは理解しています。一方、大きな事業には相応の交付金、補助金等の財政処置が手立てされることも考えられます。今、その町民の生活を下支えする思い切った予算措置が必要であり、住民の生活を思いやる支援策を求めます。その為に財政調整基金が適切に使われ、運用されるよう求めるものです。

具体的な施策についてですが、空港に隣接する多古町エリアでの物流拠点開発や、圏央道のインターチェンジ設置に伴う多古町への集客の受け入れと結び付けて、地域経済活性化拠点整備事業着手については、今後の町の方向性を示す極めて重要な案件と思われまます。それに伴い、関係する町民の方々へは十分に丁寧な配慮が必要と思われまます。

子育て支援、教育支援、及び病児保育支援については全国でもトップクラスの政策で引き続き継続を求めます。更に、学校給食については他自治体に先駆けての給食費無償化は高く評価出来ますが、食材の調達、そして安全性については地元重視、国産重視、更に残留農薬チェック等、課題があります。更なる改善策を求めます。又、高齢者支援として新たに带状疱疹ワクチンの接種費用一部助成の予算化は県内でも先進的な取り組みで評価致します。

更に補聴器助成についても実現に向けて、方針を明確にされることを望みます。今、住民生活に目をやれば ロシアによるウクライナ侵略戦争は、世界中に物流の停滞を招き、日本国内に於いてもあらゆる資材価格が高騰しています。当町に於いても、農業者を始め、多くの事業者、そして町民の皆様一人一人にもその厳しい状況の影響があり、苦しい生活を強いられています。国の支援金を活用するなど更なる支援策を求めます。

又、緊急盛り土対策事業が予算化され、南玉造崩落現場の対策工事が実施されます。多古町の豊かな自然と、町民の安心安全な生活を守る為、更なる建設残土埋め立て対策強化を求めます。

更に、日常的な通学路の安全対策についても、関係各課の連携により、速やかな実施を求めます。

以上、平山町政の積極姿勢を評価し、更なる対策も要望しながら、賛成討論と致します。

多古民報 3月議会特集 2023年4月

日本共産党多古町議会議員 石渡悦子 菅沢博隆